

貯法：気密容器
 遮光して、火気を避けて
 室温保存
 使用期限：容器等に表示
 注意：「取扱い上の注意」の項参照

	綿球14	綿球20
承認番号	(18AM)10193	(18AM)10194
薬価収載	薬価基準未収載	
販売開始	2006年12月	

外用殺菌消毒剤

ステリクロン[®]0.5%AL綿球14

ステリクロン[®]0.5%AL綿球20

※(0.5%クロルヘキシジングルコン酸塩・エタノール含浸綿球)

STERICLON[®] 0.5% AL COTTON BALL

- ※※【禁忌（次の患者及び部位には使用しないこと）】
- (1) クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
 - (2) 脳、脊髄、耳（内耳、中耳、外耳）
 [聴神経及び中枢神経に対して直接使用した場合は、難聴、神経障害を来すことがある。]
 - ※※ (3) 膈、膀胱、口腔等の粘膜面
 [クロルヘキシジン製剤の上記部位への使用により、ショック、アナフィラキシーの症状が発現が報告されている。]
 エタノール含有液なので、前記部位への使用により、刺激作用がある。
 - (4) 損傷皮膚 [エタノール含有液なので、損傷部位への使用により、刺激作用がある。]
 - (5) 眼 [外国において重篤な眼障害を起こしたとの報告がある。]

※【組成・性状】

※〈組成〉
 ステリクロン0.5%AL綿球14
 綿球1球（脱脂綿0.18g）あたり
 0.5w/v%クロルヘキシジングルコン酸塩液1.8mL含浸
 添加物としてエタノールを含有する。
 ステリクロン0.5%AL綿球20
 綿球1球（脱脂綿0.44g）あたり
 0.5w/v%クロルヘキシジングルコン酸塩液4.4mL含浸
 添加物としてエタノールを含有する。
 ※〈性状〉
 白色～微黄色でほぼ球状の固体である。
 本品の絞り液はエタノール（日局エタノール83vol%）を含有する無色～微黄色のわずかに混濁した液である。
 絞り液の比重 d_{20}^{20} ：約0.86

※【効能・効果】 【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
手術部位（手術野）の皮膚の消毒	本剤をそのまま消毒部位に用いる。
※ 医療機器の消毒	本剤をそのまま用いる。

※※【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に使用すること）
- (1) 薬物過敏症の既往歴のある患者
 - (2) 喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある患者

2. 重要な基本的注意

- ※※ (1) ショック、アナフィラキシー等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無について十分な問診を行うこと。
- (2) 産婦人科用（膈・外陰部の消毒等）、泌尿器科用（膀胱・外性器の消毒等）には使用しないこと。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

※※ (1) 重大な副作用

ショック（頻度不明）、アナフィラキシー（頻度不明）：ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので観察を十分に行い、血圧低下、蕁麻疹、呼吸困難等があらわれた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹・発赤・蕁麻疹等
皮膚 ^{注2)}	刺激症状

注1)このような症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、再使用しないこと。

注2)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

4. 適用上の注意

- (1) 投与経路：
 外用にのみ使用すること。
- (2) 使用時：
 1) 眼に入らないように注意すること。
 眼に入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。
 2) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。
- ※3) 血清、膿汁等の蛋白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療機器等に用いる場合には、十分に洗い落してから使用すること。
- 4) 同一部位（皮膚面）に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので、注意すること。
- 5) 注射器、カテーテル等の神経あるいは粘膜面に接触する可能性のある器具を本剤で消毒した場合は、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。
- 6) 本剤の付着したカテーテルを透析に用いると、透析液の成分により難溶性の塩を生成することがあるので、本剤で消毒したカテーテルは、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。
- 7) 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、十分注意すること。
- 8) 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落してから使用すること。

